

2022年8月27日

食料支援・いのちと暮らしを守る相談会を実施

**福岡医療団・ふくおか健康友の会で食料支援を行い、
準備した100セットを渡しました。**



食料支援は、電話とネットから15件の予約と法人内訪問看護ステーション、千代診療所小児科、友の会などから43件の予約がありました。当日は予約とは別に地域から40名以上の来場があり開始から約30分で準備した100セットの支援物資をお渡しすることができました。多くの方から「厳しい中とても助かる」との感謝と、「是非、継続して欲しい」との声が寄せられました。支援物資は、フードバンク様、福岡保健企画様、若宮農民組合様、福岡医療団・福岡保健企画・NPOひまわりの職員の皆様からご提供いただきました。ありがとうございました。同時に開催した相談会には、電話相談1件、支援物資を渡した方の面談相談1件があり、対応しました。アンケートにあるように地域では深刻な状況があります。食料支援・相談会は、法人内の他事業所での開催も含め、継続していきますので、引き続きのご協力をお願いいたします。

食料支援でのアンケートから

Q：この取り組みを何で知りましたか？

1) チラシ：19名 2) 千代診療所：19名 3) 8月27日付け西日本新聞：7名

Q：取り組みを継続してほしいか？

1) はい：44名 2) いいえ：0名 3) どちらでもよい：1名

Q：コロナ禍での影響はどうか（自由記載）

- ・お金の困ります・仕事が減った、仕事がない（3名）
- ・家計、生活が苦しい、大変（7名）
- ・足腰が弱くなった、きつい・大変厳しい、厳しい（3名）
- ・物価高騰により困っています・外出ができない
- ・自由がなくなった・外に出るのが怖いなど

Q：国・行政へのご意見をお願いします（自由記載）

- ・再度給付金をお願いしたい（7名）
- ・生活の援助をしてほしい
- ・仕事を増やしてほしい
- ・国民の生の声を聞いてほしい
- ・いろんな支援をお願いしたい（2名）
- ・給料を上げてほしい
- ・コロナ対策をきちんと分かりやすくしてほしい
- ・介護保険が高すぎる
- ・国葬はいらないと思う
- ・食料支援をしてほしい